



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月3日  
東

上場会社名 株式会社伊予銀行 上場取引所  
 コード番号 8385 URL <http://www.iyobank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 大塚 岩男  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 長田 浩 (TEL) 089-941-1141  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	35,858	10.2	12,118	△7.4	8,200	△7.2
2018年3月期第1四半期	32,543	2.2	13,092	7.0	8,834	6.1

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 8,206百万円(△57.2%) 2018年3月期第1四半期 19,156百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	25.92	25.87
2018年3月期第1四半期	27.93	27.88

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	7,328,903	652,324	8.6
2018年3月期	7,096,633	646,304	8.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 629,862百万円 2018年3月期 623,212百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 配当金の内訳 2018年3月期第2四半期末 記念配当 1円00銭 2018年3月期末 記念配当 1円00銭

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,500	△3.7	15,500	△24.7	9,800	△28.3	30.97
通期	119,000	△1.6	29,500	△18.3	18,600	△21.3	58.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	323,775,366株	2018年3月期	323,775,366株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	7,423,148株	2018年3月期	7,422,736株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	316,352,445株	2018年3月期1Q	316,189,468株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## [添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	.....	2
(1) 経営成績に関する説明	.....	2
(2) 財政状態に関する説明	.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	.....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	.....	3
(1) 四半期連結貸借対照表	.....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	.....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	.....	7
(継続企業の前提に関する注記)	.....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	.....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	.....	7
3. 2019年3月期 第1四半期決算 説明資料	.....	8
(1) 2019年3月期 第1四半期損益の概況【単体】	.....	8
(2) 預金等・貸出金の残高【単体】	.....	9
(3) 預り資産の残高	.....	9
(4) 有価証券の評価損益【単体】	.....	10
(5) 金融再生法ベースの開示不良債権【単体】	.....	11
(6) 自己資本比率(国際統一基準)	.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期のわが国経済は、輸出の減速や個人消費の低迷を背景に、景気回復に足踏み感がありますが、雇用所得環境の改善や堅調な企業の設備投資を受け、緩やかな回復がみられました。米中の貿易摩擦や原油価格の動向などの懸念材料は残りますが、引き続き、回復基調が続く見通しです。

愛媛県経済も、生産活動や個人消費の一部で弱さが残りますが、全体としては持ち直しの動きが続いており、全国同様、緩やかな回復が続くと期待されます。

このような情勢のもと、当第1四半期連結累計期間における業績は、次のとおりとなりました。

経常収益は、国債等債券売却益の増加等によりその他業務収益が増加したことなどから、前年同期比33億15百万円増加して358億58百万円となりました。一方、経常費用は、その他業務費用が増加したことなどから、前年同期比42億89百万円増加して237億39百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比9億74百万円減少して121億18百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比6億34百万円減少して82億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

譲渡性預金を含めた預金等は、前連結会計年度末比169億円増加して5兆5,423億円となりました。

貸出金は、前連結会計年度末比491億円増加して4兆3,188億円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比675億円減少して1兆7,480億円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比60億円増加して6,523億円となりました。

総資産は、前連結会計年度末比2,322億円増加して7兆3,289億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表いたしました第2四半期及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	728,327	960,538
コールローン及び買入手形	23,479	10,501
債券貸借取引支払保証金	—	21,692
買入金銭債権	10,247	9,821
商品有価証券	465	462
金銭の信託	6,337	6,829
有価証券	1,815,554	1,748,035
貸出金	4,269,697	4,318,885
外国為替	7,092	8,286
リース債権及びリース投資資産	30,594	30,672
その他資産	93,761	102,376
有形固定資産	72,850	72,579
無形固定資産	5,375	6,395
退職給付に係る資産	23,164	23,746
繰延税金資産	179	181
支払承諾見返	33,761	31,527
貸倒引当金	△24,256	△23,629
資産の部合計	7,096,633	7,328,903
<b>負債の部</b>		
預金	5,084,173	5,042,984
譲渡性預金	441,225	499,409
コールマネー及び売渡手形	25,497	215,461
売現先勘定	77,434	68,982
債券貸借取引受入担保金	226,150	272,068
借入金	419,341	416,145
外国為替	65	43
信託勘定借	39	34
その他負債	54,888	42,916
賞与引当金	1,650	—
退職給付に係る負債	12,502	12,515
睡眠預金払戻損失引当金	2,928	2,645
偶発損失引当金	426	441
特別法上の引当金	1	1
繰延税金負債	60,416	61,599
再評価に係る繰延税金負債	9,824	9,800
支払承諾	33,761	31,527
負債の部合計	6,450,329	6,676,579

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
資本金	20,948	20,948
資本剰余金	11,570	11,570
利益剰余金	404,181	410,222
自己株式	△5,255	△5,255
株主資本合計	431,445	437,486
その他有価証券評価差額金	166,703	167,469
繰延ヘッジ損益	△1,240	△1,219
土地再評価差額金	19,634	19,579
退職給付に係る調整累計額	6,669	6,547
その他の包括利益累計額合計	191,766	192,376
新株予約権	467	498
非支配株主持分	22,624	21,963
純資産の部合計	646,304	652,324
負債及び純資産の部合計	7,096,633	7,328,903

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
経常収益	32,543	35,858
資金運用収益	21,092	21,116
(うち貸出金利息)	11,978	12,629
(うち有価証券利息配当金)	8,696	7,773
信託報酬	—	0
役務取引等収益	3,449	3,730
その他業務収益	4,773	7,912
その他経常収益	3,228	3,099
経常費用	19,450	23,739
資金調達費用	1,773	2,622
(うち預金利息)	579	715
役務取引等費用	1,145	1,201
その他業務費用	3,519	6,210
営業経費	12,755	13,029
その他経常費用	256	675
経常利益	13,092	12,118
特別利益	1	—
固定資産処分益	1	—
特別損失	53	19
固定資産処分損	4	18
減損損失	49	1
税金等調整前四半期純利益	13,041	12,098
法人税、住民税及び事業税	2,948	2,053
法人税等調整額	934	1,504
法人税等合計	3,883	3,558
四半期純利益	9,158	8,540
非支配株主に帰属する四半期純利益	324	339
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,834	8,200

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	9,158	8,540
その他の包括利益	9,998	△333
その他有価証券評価差額金	9,984	△232
繰延ヘッジ損益	△27	20
退職給付に係る調整額	41	△122
四半期包括利益	19,156	8,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,222	8,865
非支配株主に係る四半期包括利益	933	△658



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の処理)

連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

## 3. 2019年3月期 第1四半期決算 説明資料

## (1) 2019年3月期 第1四半期損益の概況【単体】

コア業務純益は、前年同期比で7億円減少の80億円となりました。経常利益は、有価証券関係損益が減少したことから、前年同期比8億円減少の113億円となりました。また、四半期純利益は、前年同期比5億円減少の80億円となりました。

## ○主要計数・前年同期比

(単位:百万円、%)

	2018年3月期 第1四半期 (3ヵ月間) (A)	2019年3月期 第1四半期 (3ヵ月間) (B)	前年同期比 (B)-(A)	増減率	2019年3月期 中間業績予想値 (6ヵ月間)	進捗率
<b>経常収益</b>	<b>27,960</b>	<b>31,067</b>	<b>3,107</b>	<b>11.1</b>	<b>50,000</b>	<b>62.1</b>
<b>コア業務粗利益</b>	<b>20,867</b>	<b>20,598</b>	<b>△ 269</b>	<b>△ 1.3</b>		
資金利益	19,263	18,411	△ 852			
役務取引等利益	1,484	1,695	211			
うち預り資産収益	423	519	96			
その他業務利益	119	490	371			
<b>経費(△)</b>	<b>12,044</b>	<b>12,560</b>	<b>516</b>	<b>4.3</b>		
<b>コア業務純益</b>	<b>8,822</b>	<b>8,037</b>	<b>△ 785</b>	<b>△ 8.9</b>	<b>12,500</b>	<b>64.3</b>
<b>信用コスト(△)①+②-③-④</b>	<b>101</b>	<b>△ 74</b>	<b>△ 175</b>			
一般貸倒引当金繰入額(△)①	△ 231	-	231			
不良債権処理額(△)②	438	133	△ 305			
貸倒引当金戻入益③	-	69	69			
償却債権取立益④	105	138	33			
<b>有価証券関係損益</b>	<b>2,840</b>	<b>2,393</b>	<b>△ 447</b>			
国債等債券関係損益	527	746	219			
株式等関係損益	2,313	1,646	△ 667			
その他臨時損益	705	867	162			
<b>経常利益</b>	<b>12,267</b>	<b>11,372</b>	<b>△ 895</b>	<b>△ 7.3</b>	<b>14,000</b>	<b>81.2</b>
<b>特別損益</b>	<b>△ 52</b>	<b>△ 18</b>	<b>34</b>			
税引前四半期純利益	12,215	11,353	△ 862			
法人税等+同調整額(△)	3,595	3,294	△ 301			
<b>四半期(中間)純利益</b>	<b>8,619</b>	<b>8,059</b>	<b>△ 560</b>	<b>△ 6.5</b>	<b>9,500</b>	<b>84.8</b>

(参考) 2019年3月期第1四半期は、貸倒引当金戻入益を計上しております。

なお、貸倒引当金戻入益を内訳別に区分した信用コストは以下のとおりです。

	2018年3月期 第1四半期 (3ヵ月間) (A)	2019年3月期 第1四半期 (3ヵ月間) (B)	前年同期比 (B)-(A)
<b>信用コスト(△)</b>	<b>101</b>	<b>△ 74</b>	<b>△ 175</b>
一般貸倒引当金繰入額(△)	△ 231	△ 263	△ 32
不良債権処理額(△)	438	326	△ 112
うち個別貸倒引当金繰入額(△)	384	193	△ 191
償却債権取立益	105	138	33

## (2) 預金等・貸出金の残高【単体】

預金等残高は2017年6月末比611億円増加(増減率1.1%)、貸出金残高は2017年6月末比2,917億円増加(増減率7.2%)しております。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)
	2018年6月末	2017年6月末比	2017年6月末	2018年3月末
預金等(末残)(注1)	55,632	611	55,021	55,460
うち個人預金	34,397	297	34,100	33,921
貸出金(末残)	43,409	2,917	40,492	42,926
うち中小企業等貸出金(注2)	31,727	1,818	29,909	31,527
個人向け貸出金	10,335	338	9,997	10,240
うち住宅ローン	7,503	229	7,274	7,425

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)
	2018年6月末	2017年6月末比	2017年6月末	2018年3月末
信用保証協会保証付貸出金	824	△103	927	854

(注) 1. 預金等は、預金及び譲渡性預金の合計であります。

2. 中小企業等貸出金とは、中小企業及び個人向け貸出金であります。

## (3) 預り資産の残高

伊予銀行グループの預り資産残高は、2017年6月末比312億円増加の5,453億円となりました。

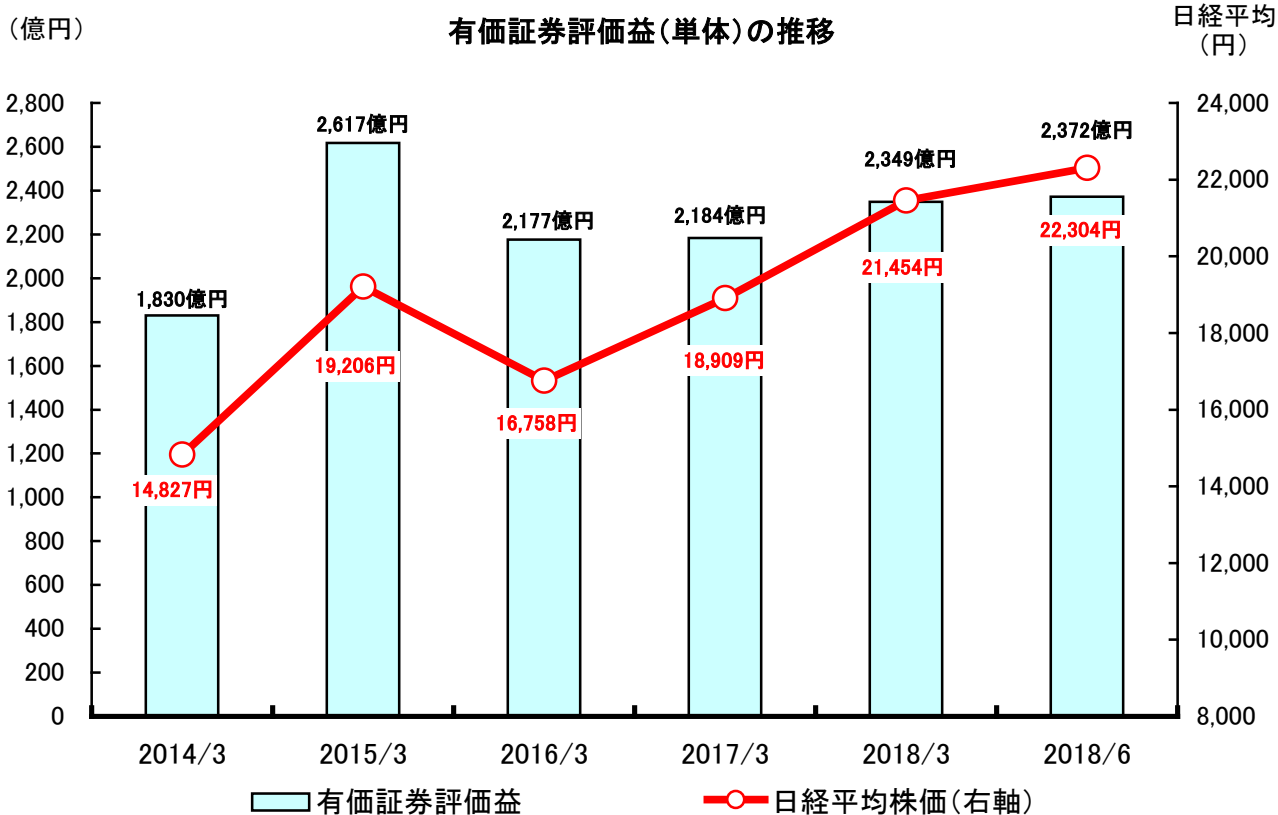
	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)
	2018年6月末	2017年6月末比	2017年6月末	2018年3月末
伊予銀行預り資産残高	3,465	98	3,367	3,430
投資信託	714	△110	824	716
保険	2,078	93	1,985	2,062
国債	250	△12	262	254
金融商品仲介	422	128	294	397
四国アライアンス証券預り資産残高	1,987	213	1,774	2,014
<b>伊予銀行グループ合計</b>	<b>5,453</b>	<b>312</b>	<b>5,141</b>	<b>5,444</b>

## (4) 有価証券の評価損益【単体】

2018年6月末の有価証券の評価損益は、2,372億円と地銀トップクラスの水準を確保しております。

	(単位：億円)					(参考) (単位：億円)							
	2018年6月末					2018年3月末				2017年6月末			
	時価	評価損益		2018年3月末比		時価	評価損益		時価	評価損益			
			評価益	評価損			評価益	評価損		評価益	評価損		
その他有価証券	17,258	2,372	23	2,452	79	17,910	2,349	2,446	97	16,980	2,310	2,356	45
株式	3,001	2,095	53	2,100	5	2,958	2,042	2,049	7	2,816	1,889	1,896	7
債券	9,279	230	△16	236	5	9,577	246	253	7	9,871	278	291	12
その他	4,977	46	△14	115	68	5,374	60	143	82	4,292	142	168	25

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、評価損益は貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。  
2. 満期保有目的の債券はありません。

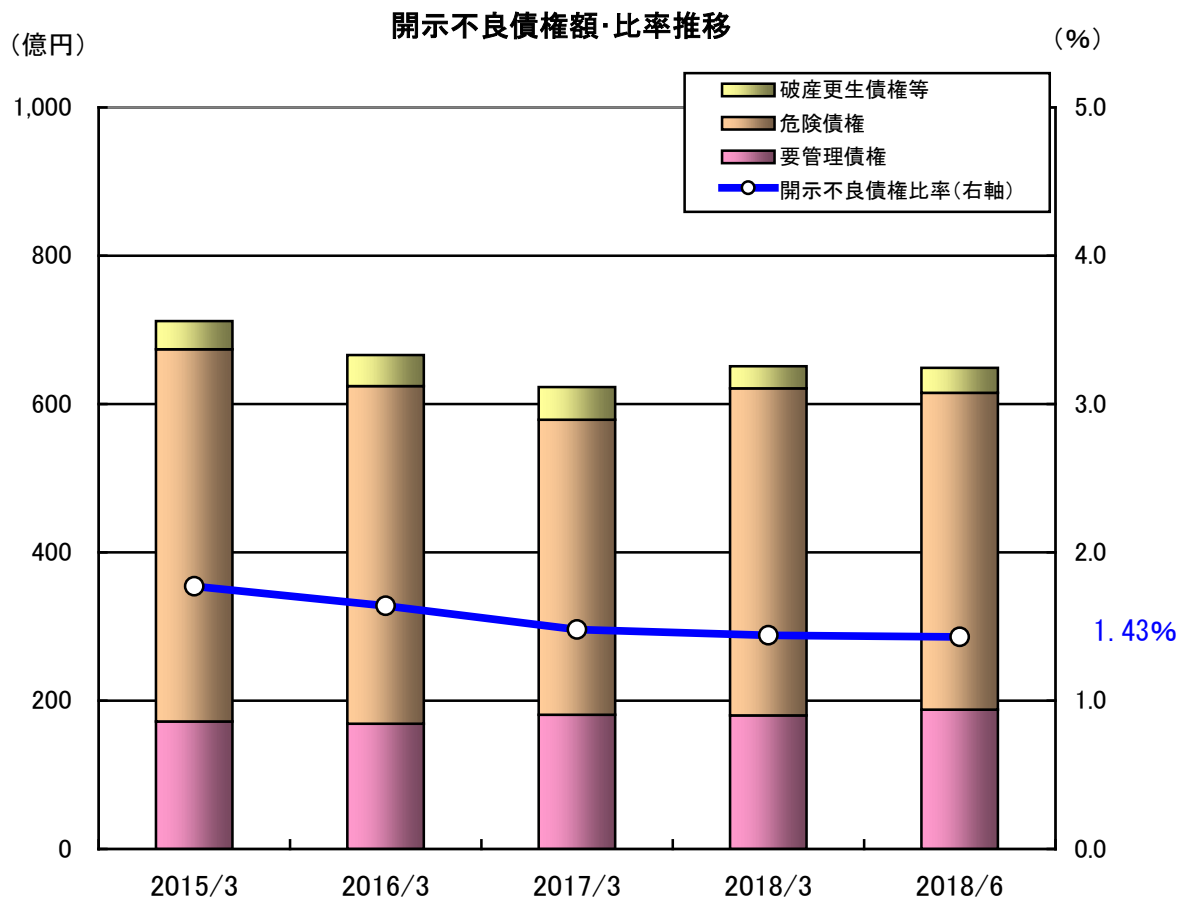


(注) 金銭の信託に係る評価損益を除く。

## (5) 金融再生法ベースの開示不良債権【単体】

金融再生法ベースの開示不良債権は 650 億円、開示不良債権比率は 1.43%と引き続き低水準を維持しております。

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	2018年6月末	2018年3月末比	2018年3月末	2017年6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	34	4	30	34
危険債権	427	△ 14	441	400
要管理債権	188	8	180	198
合 計	650	△ 2	652	633
開示不良債権比率	1.43%	△ 0.01 p	1.44%	1.49%



## (6) 自己資本比率 (国際統一基準)

2018年6月末実績値につきましては、現在算出中であり、確定次第公表いたします。